

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	市長公室	
関係部		

基本施策	IV-12 つくばの魅力を発信する
個別施策	② シティ・プロモーションの推進
個別施策の方向	つくば市には、筑波山に代表される自然や歴史、世界に誇る科学技術といった魅力ある資源が豊富に存在する。これらの魅力を発信するため、つくば市全体が主体となり”オールつくば”でシティ・プロモーションを推進し、誘客及び定住の促進を図る。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	14,628	人件費	26,975	事業コスト	41,603			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	23,562	人件費	29,720	事業コスト	53,282			
	事業費内訳	国庫支出金	1,177	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H29年度	決算	事業費	25,474	人件費	42,722	事業コスト	68,196			
	事業費内訳	国庫支出金	3,355	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H30年度	決算	事業費	25,991	人件費	29,697	事業コスト	55,688			
	事業費内訳	国庫支出金	5,243	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	20.7%	27.9%	7.2%
34) シティ・プロモーション			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>シティプロモーションの効果について、アンケート調査等で成果を確かめることを積極的に推進されたい。単にシティプロモーションを実施するだけということではなく、その先を見据えた形で施策を考えられたい。そのためには、他部署との連携のもとに、シティプロモーションを進められたい。</p> <p>また、大きなテーマにはなるが、「つくばの魅力」とはなにか、関係人口はどれくらいを目標におきたいのかといったことも踏まえて、ぜひ魅力あるつくばの発信及び勧誘を推進されたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>SNSを活用し市の魅力を発信するとともに、市民協働で市の愛着心を醸成させる事業を実施する。また、移住セミナー等のイベントにおいて移住相談を行う。庁内では、市ホームページなどの情報発信ツールの整備のほか、職員のプロモーションスキルアップのためのセミナーを開催する。</p> <p>つくば駅前の「つくば市交流サロン」において、チラシやパンフレット、書籍等の設置や、PR動画の放映などの市の情報発信を行うほか、打ち合わせや待ち合わせ、休憩などで気軽に利用できる場を提供する。さらに、大学や研究機関と連携してセミナーやイベントを開催する。</p>
施策の 成果	<p>市公式Facebookの運用に当たっては、広報戦略課のみならず各課等の事業担当者へ編集権限を付与したことで、578件の投稿を行い、ユーザー数は8,911（いいね数）に達した。また、インスタフォトコンテストや学生協働事業の実施により、市への愛着心の醸成を図ることができた。さらに、先進自治体の職員等を講師としたセミナーを開催し、職員の広報に対する意識啓発を図ることができた。</p> <p>市の先駆的な取組を集約し情報発信を行う「Tsukuba Tomorrow Labo」のランディングページ及びパンフレットの製作やイベント「つくばVAN泊」の開催により、移住定住、関係人口の創出に寄与した。</p> <p>さらに、つくば市交流サロンでは筑波大学等と連携し、多くのイベントや展示を行ったほか、科学やスタートアップなどの様々な市の魅力を発信することができた。</p>
課題と 改善目標	<p>SNSによる情報発信は動画の活用が主流となりつつあるため、広報担当職員の動画編集スキルを向上させるため、勉強会を行う。</p> <p>つくばエクスプレス沿線開発地域は順調に転入者が増加しているが、周辺地域では人口が減少傾向にある。そのため、周辺市街地振興室等と連携し、周辺地域の魅力の発信を強化することで周辺地域への人の流れを作り出す。</p> <p>また、つくば市交流サロンにイベント専用のWi-Fiを設置し、プログラミングなどのテック系イベントの開催などにも対応できるようにする。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。